

キャロッピーデー

《きゅうり》

毎月1回、菊陽町でとれる食べ物を「キャロッピーデー」として紹介します。



きゅうりは6月3日に植え付けて、約20～25日で収穫できるようになります。長さが30cmを超えないように収穫されています。病気に強い品種を育てられています。日々の管理は、水やりを朝2日に1回、1株につき200～250ccされているそうです。葉っぱの整理をすることや、毎日大きくなるので、その管理をすることが大変な作業ということでした。（1日に10cm伸びることもあるそうです。）



きゅうりの花は黄色で花びらは5枚です。



花の根元からふくらんで、大きくなるときゅうりの形になります。



きゅうりの「とげ」

きゅうりの表面には、とげがあります。とげがしっかりしているのは新鮮な証です。



カッパときゅうり

伝説上の生き物のカッパは、きゅうりが大好物だと伝えられたことから、きゅうりのことを「かっぱ」ともいいます。



きゅうりの名前の由来

きゅうりは収穫しないでそのままおくと、実が大きくなって皮が黄色くなります。そのため、「黄色のうり」から「きゅうり」とよばれるようになったといわれています。実が黄色や赤に色づくのは、鳥や動物に食べてもらい、遠くに種をばらまきたいからだといわれています。



Q クイズ Q わかるかな？

きゅうりにはどのくらいの水がふくまれているでしょう？

- ① 約75%
- ② 約85%
- ③ 約95%

答えは、来月号でお知らせします。

☆6月クイズの答え☆

< ③カロテン >

にんじんに多く含まれるカロテンは、体のなかでビタミンAになります。

